




- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


 **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

 **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

 **ポイント** ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※ ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

 **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

ポイント

- 錠部品は、門扉本体と戸当りの吊り込み・調整後に取付けを行ってください。

■梱包明細表

【1】DS錠セット

名 称	略 図	員 数		
		両錠	片錠	親子錠
可動レバーハンドル(道路側)		1	1	1
可動レバーハンドル(家 側)		1	1	1
固定レバーハンドル(道路側)		1	—	—
固定レバーハンドル(家 側)		1	—	—
ハンドル台座(道路側)		1	1	1
ハンドル台座(家 側)		2	1	1
固定ハンドル取付軸		1	—	—
台座カバー		3	2	2
錠ケース(フロント板を含む)		1	1	1
シリンダーユニット		1	1	1
セキュリティサムターンユニット		1	1	1
サムターン座		1	1	1
おでかけサムターン(※1)		2	2	2
エマージェンシー(※1)		1	1	1
キー(※1)		3	3	3

【1】DS錠セット(つづき)

名 称	略 図	員 数		
		両錠	片錠	親子錠
ストライク		1	1	1
トロヨケ		1	1	1
ストライクスパーサー		2	2	2
【1-1】φ4×12サラタッピンネジ3種		2	2	2
【1-2】M4×20ナベ小ネジ		4	2	2
【1-3】φ4×12ナベタッピンネジ3種		2	—	—
【1-4】M5×45トラス小ネジ		2	2	2
【1-5】φ4×16サラタッピンネジ3種		2	—	2
【1-6】φ4×40サラタッピンネジ3種		—	2	—
取付説明書(A497)	—	1	1	1
取扱説明書(UA182)	—	1	1	1

※1 施工終了後、必ず施主様にお渡しください。

1. 各部の名称 ※図はTA型両開き仕様、右勝手内開きを示します。

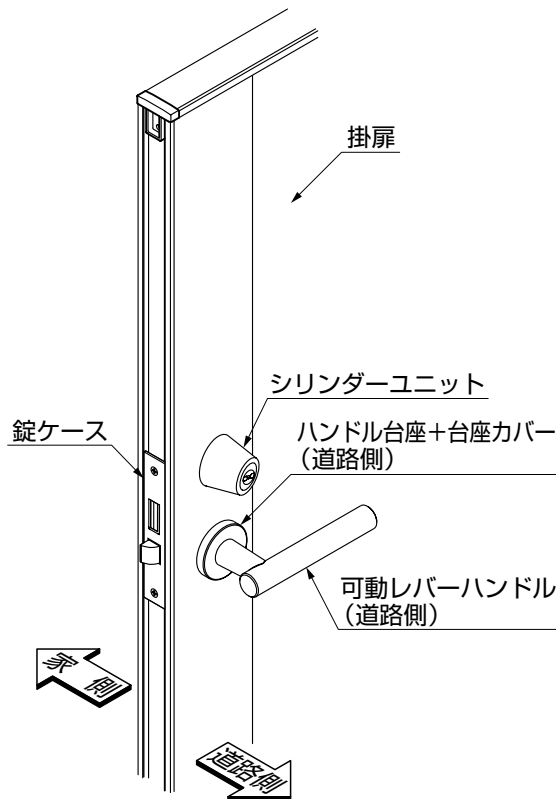


図1-1 掛扉/道路側

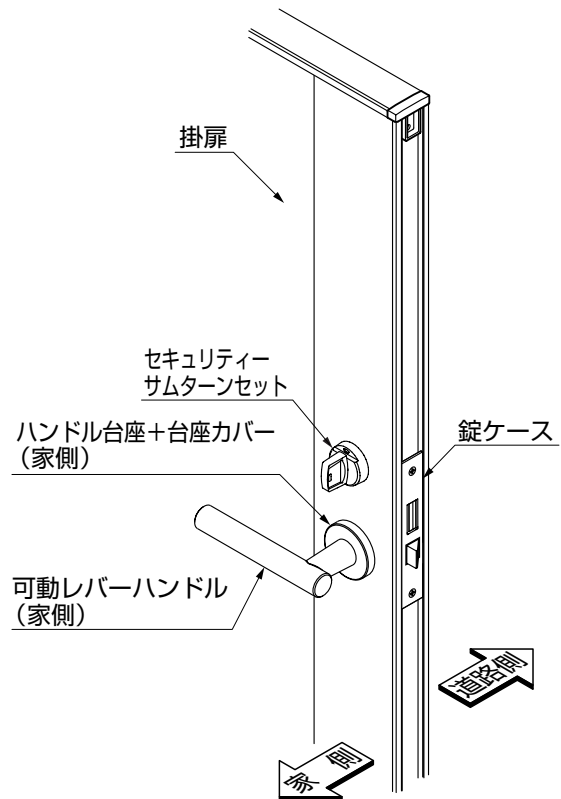


図1-2 掛扉/家側

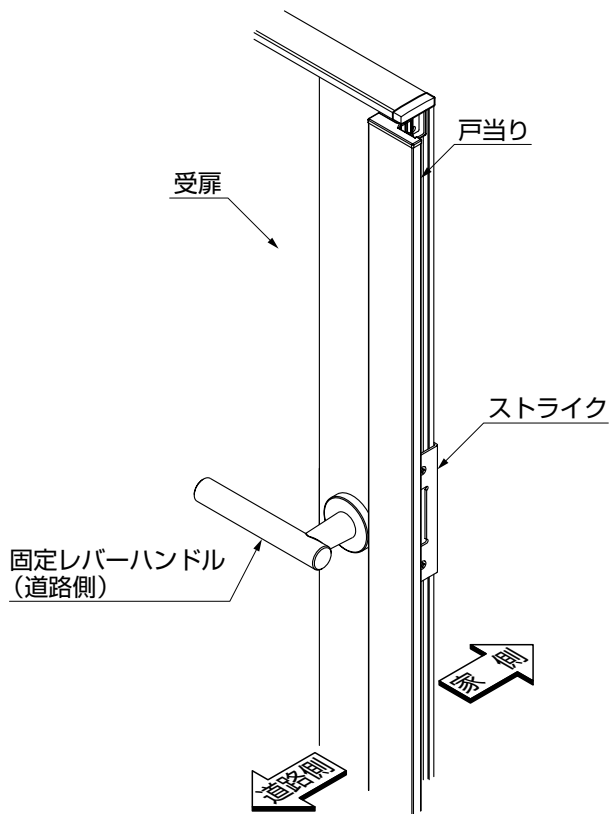


図1-3 受扉/道路側

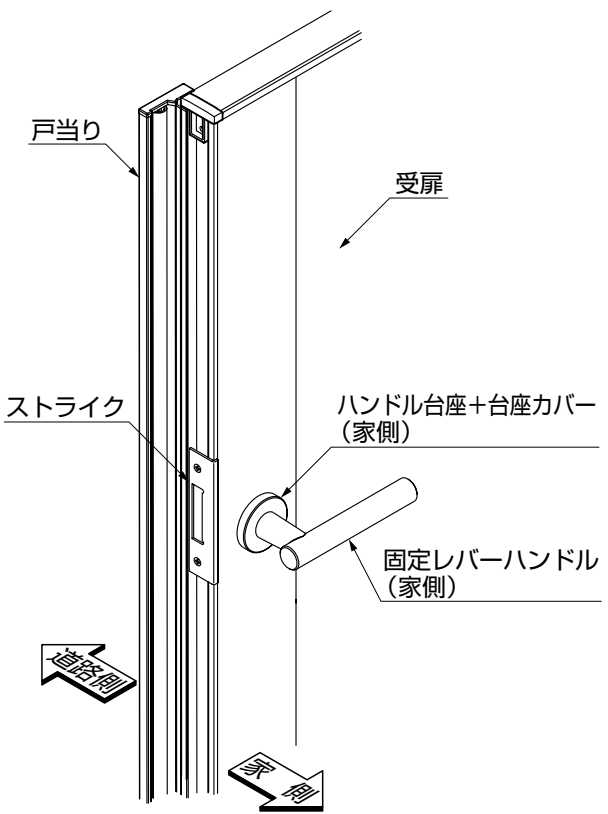
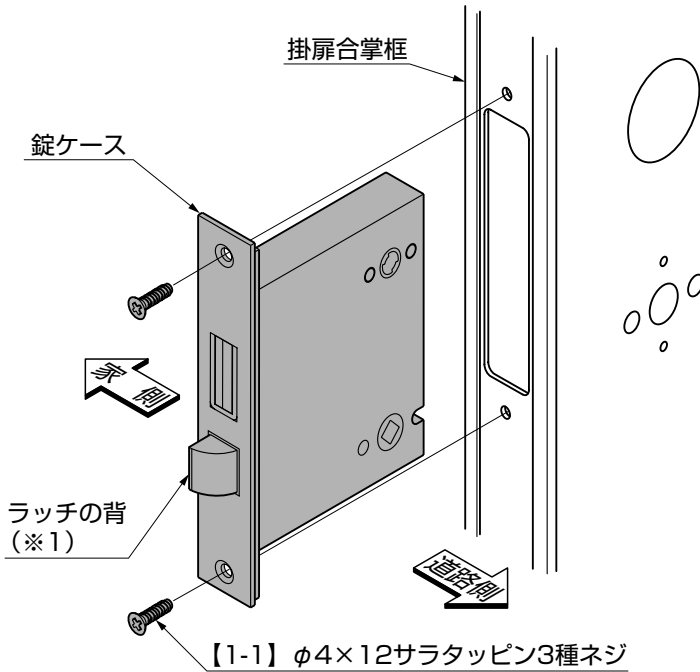


図1-4 受扉/家側

2. 掛扉への錠部品の取付け ※図は右勝手内開きを示します。

2-1 錠ケースの取付け

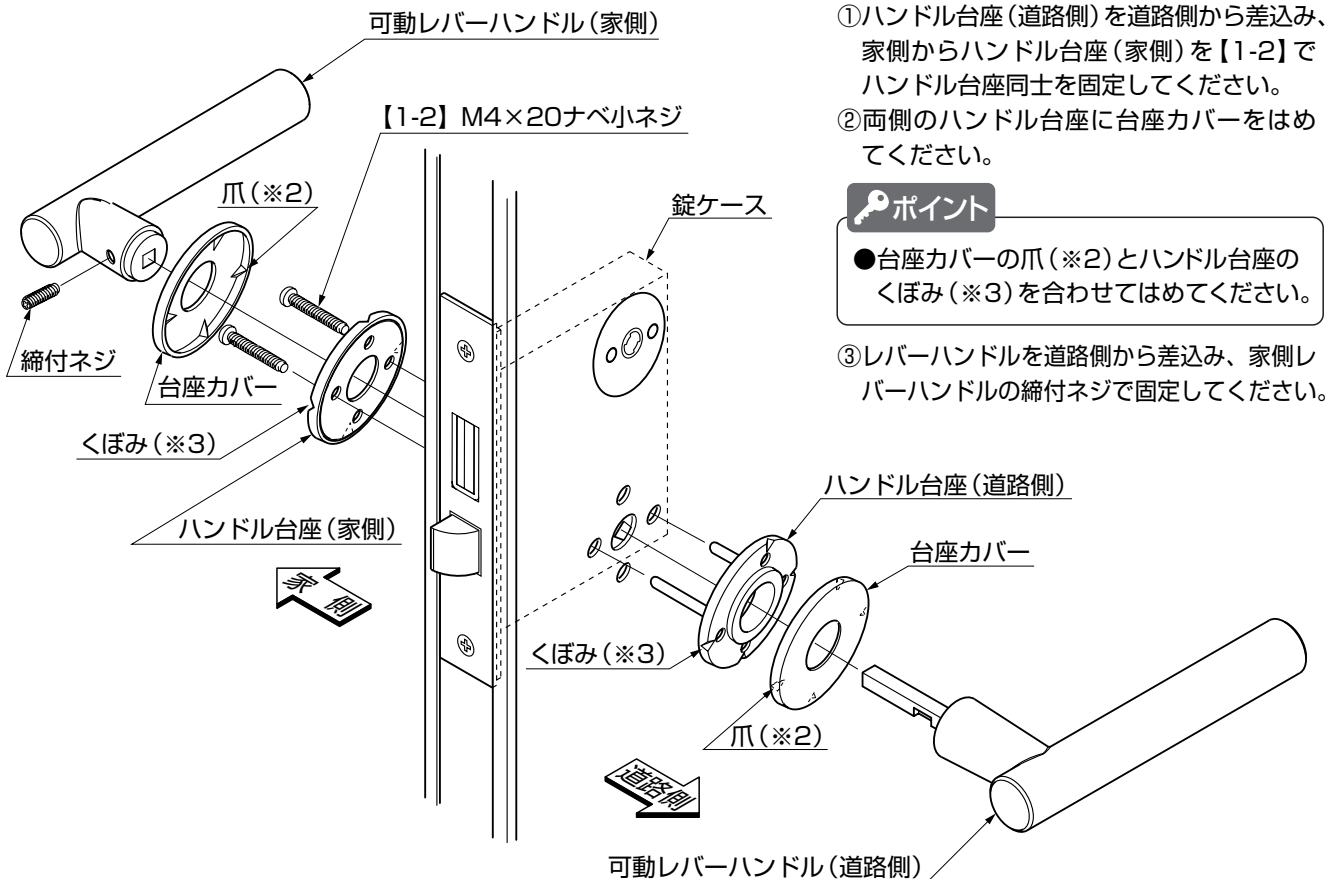


- ①ラッチの背(※1)を家側に向け、錠ケースを扉の合掌框に【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 外開きの場合は、ラッチの背(※1)を道路側に向けて取付けてください。

2-2 可動レバーハンドルの取付け



- ①ハンドル台座(道路側)を道路側から差込み、家側からハンドル台座(家側)を【1-2】でハンドル台座同士を固定してください。

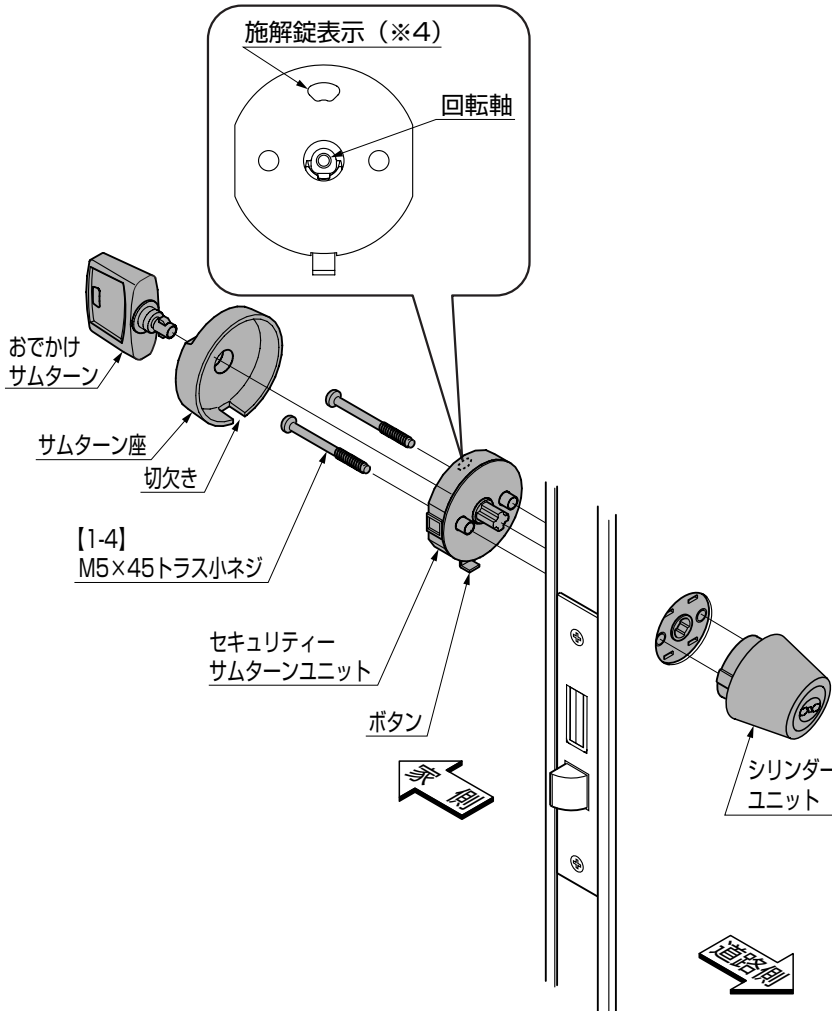
- ②両側のハンドル台座に台座カバーをはめてください。

ポイント

- 台座カバーの爪(※2)とハンドル台座のくぼみ(※3)を合わせてはめてください。

- ③レバーハンドルを道路側から差込み、家側レバーハンドルの縮付ネジで固定してください。

2-3 シリンダーの取付け



- ①道路側からシリンダーユニットを取付穴に差込み、家側からセキュリティサムターンユニットのボタンが下向きになるようにはめ、【1-4】でシリンダーユニットと固定してください。

ポイント

- 施解錠表示(※4)の色が白であることを確認して取付けてください。黒の場合は回転軸を回して白にします。

- ②サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込んでください。

- ③ボタンを上を押しながら、おでかけサムターンを差込み、ツマミを回すと鍵錠が作動することを確認してください。

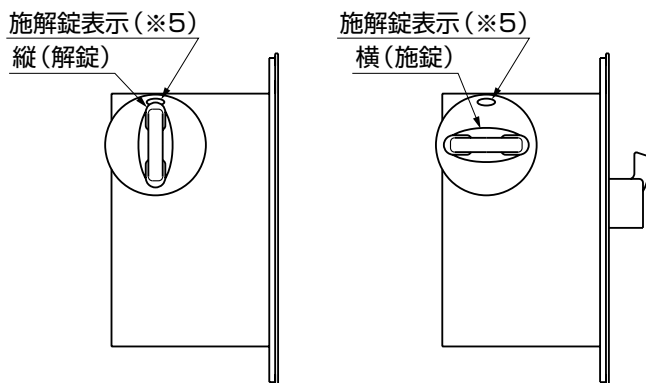


図2-1 サムターンツマミの操作

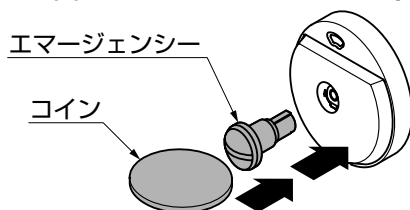


図2-2 エマージェンシーの操作

ポイント

- おでかけサムターンは縦にして取付けてください。
- おでかけサムターンを差込んだ後、ボタンが戻るとおでかけサムターンが抜けなくなります。
- おでかけサムターンのツマミを回すと、施解錠表示(※5)が解錠時「白」、施錠時「黒」になります。(図2-1参照)

- ④エマージェンシーをおでかけサムターンと同様に差込み、コインで回転することを確認してください。(図2-2参照)

3. 受扉・子扉への錠部品の

※図は右勝手内開きを示します。

3-1 固定レバーハンドルの取付け

※受扉のみの作業です。

①固定レバーハンドル(道路側)を道路側から差し込み、家側からハンドル台座(家側)と固定ハンドル取付軸を重ねてを【1-2】で固定レバーハンドルを取付けてください。

ポイント

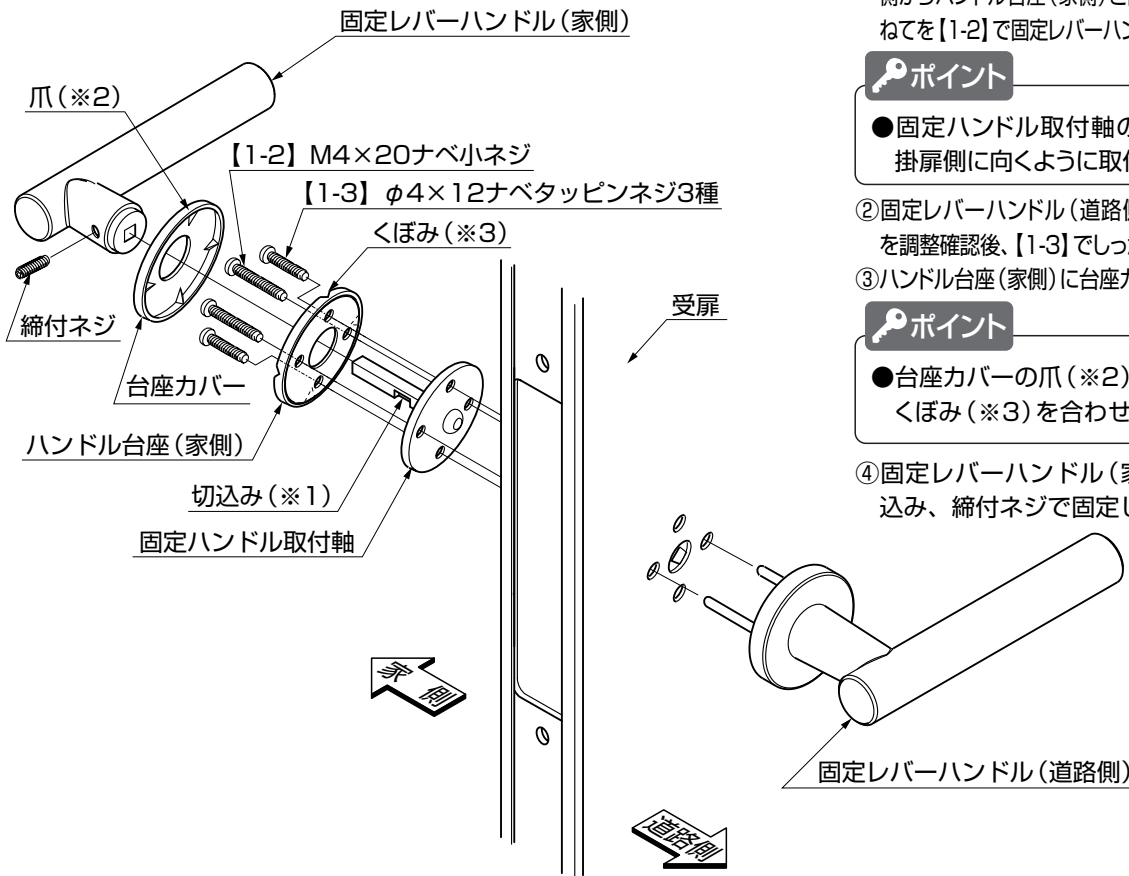
●固定ハンドル取付軸の切込み(※1)が掛扉側に向くように取付けてください。

②固定レバーハンドル(道路側)の外観角度(水平)を調整確認後、【1-3】でしっかりと固定してください。
③ハンドル台座(家側)に台座カバーをはめてください。

ポイント

●台座カバーの爪(※2)とハンドル台座のくぼみ(※3)を合わせてはめてください。

④固定レバーハンドル(家側)を取付軸に差し込み、締付ネジで固定してください。



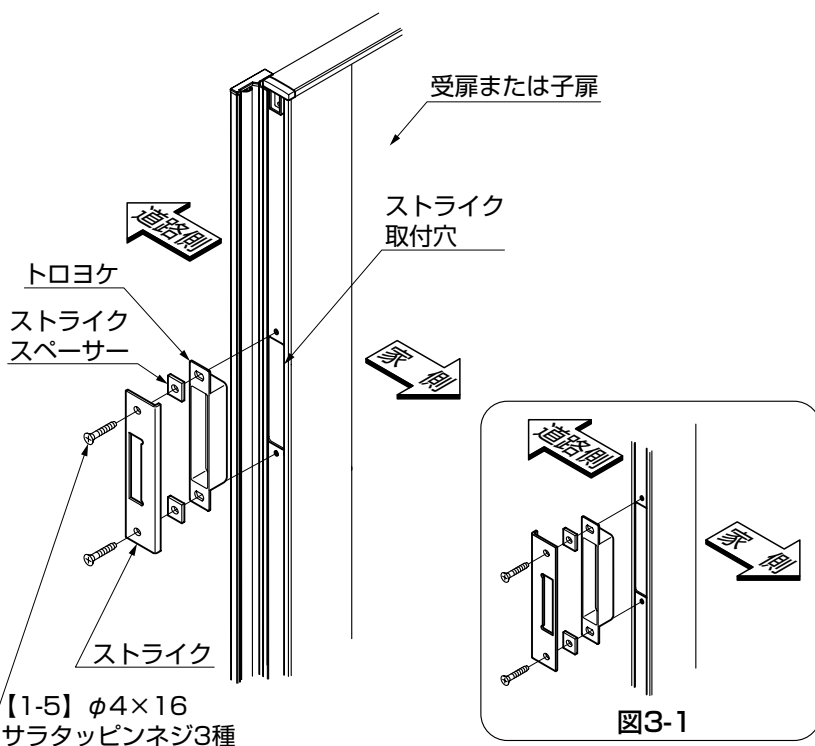
3-2 ストライク、トロヨケの取付け

※両錠、親子錠の作業です。

①トロヨケ、ストライクスペーサー、ストライクの順番で部品を重ね、扉のストライク取付穴にはめ、【1-5】で取付けてください。

ポイント

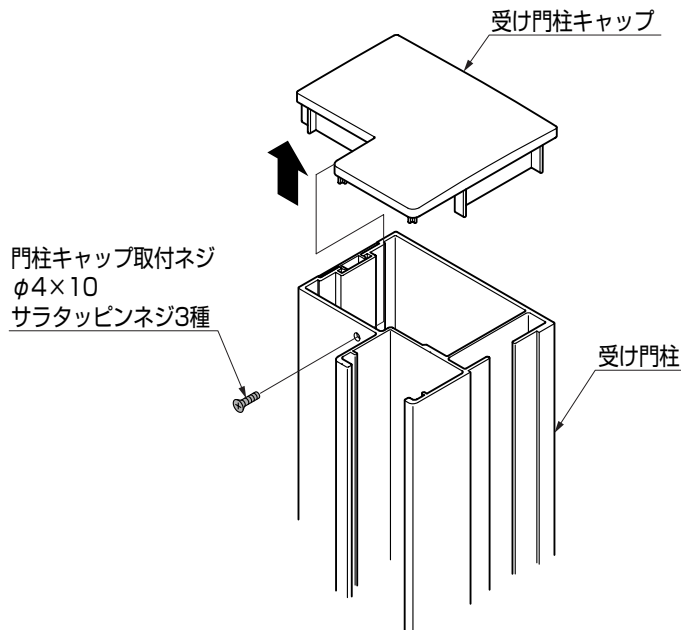
●戸当りを先に取付けてから行ってください。
●外開きの場合はストライクを逆向きに取付けてください。(図3-1参照)



4. 受け門柱への錠部品

※片錠の作業です。
※図は右勝手内開きを示します。

4-1 受け門柱キャップの取外し



- ① 門柱キャップ取付ネジを取外し、受け門柱キャップを上方へ外してください。

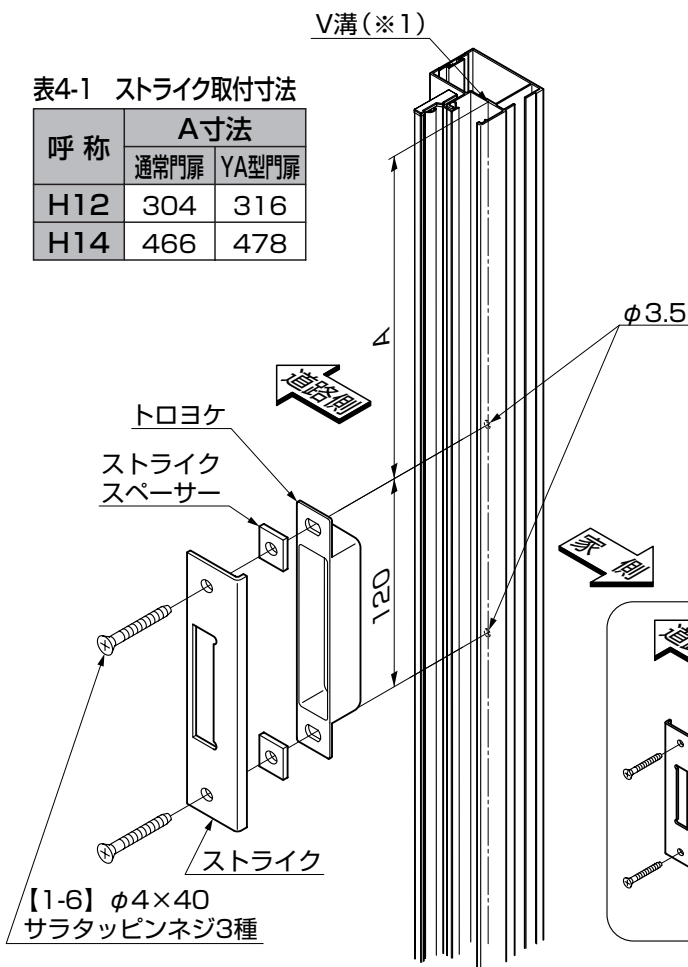
補足

- 門柱キャップは 4-2 ストライク、トロヨケの取付け後に元のとおりに取り付けを行ってください。

4-2 ストライク、トロヨケの取付け

表4-1 ストライク取付寸法

呼称	A寸法	
	通常門扉	YA型門扉
H12	304	316
H14	466	478



- ① 受け門柱のストライク取付部V溝位置(※1)に、φ3.5の下孔を2箇所あけてください。(表4-1参照)
- ② トロヨケ、ストライクスペーサー、ストライクの順番で部品を重ね、受け門柱の溝にはめ、【1-6】で取付けてください。

ポイント

- 戸当りを先に取付けてから行ってください。
- 外開きの場合はストライクを逆向きに取付けてください。(図4-1参照)

図4-1

取説コード

A497

JZZ619834C
201001A_1001
201210D_1001